

広報 きたうら

昭和61年4月号 No.254

発行 北浦村役場 編集 調査企画室
茨城県行方郡北浦村山田2564-10 ☎311-17☎0291-5-2111(代)



村民憲章

- 心身を鍛え教養を深め
文化の香り高い村をつくりましょう。
- 北浦の湖水と緑豊かな環境を大切にし
美しく清潔な村をつくりましょう。
- 時間ときまりを守り
秩序ある平和な村をつくりましょう。

- お互いに助け合いまごころの通う
明るい村をつくりましょう。
- 仕事に誇りを持ち
活力ある村をつくりましょう。

村の花／きく、村の木／ひのき、村の鳥／うぐいす

昭和61年度予算 一般会計, 特別会計 農業委員決まる 国民年金 造林補助の申請について

春の嵐に見舞われ、予定が延びた商工祭が、3月26日、村民グランドにおいて開催されました。この日のメインはミニSL。本物の蒸気機関車と同じ構造で子供たちには大人気でした。また、フワフワダックス(トランボリン)、こども広場なども設けられ、終日大勢の人出でにぎわいました。

ミニSLも登場
商工祭



前年度当初比
0.4%増

ことしの予算は

歳出

衛生費
1億1,799万円
5.8%

民生費
2億3,555万円
10.0%

総務費
3億4,444万円
17.0%

公債費
1億9,895万円
9.8%

議会費
7,910万円
3.9%

教育費
3億8,164万円
18.8%

農林水産業費
2億8,855万円
14.2%

土木費
2億7,402万円
13.5%

予備費他
3,575万円
1.7%

消防費
9,998万円
4.9%

20億2千万円

歳入

県支出金
1億3,555万円
6.6%

国庫支出金
4,916万円
2.4%

繰入金
856万円
0.4%

分担金及び負担金
552万円
0.2%

村債
8,380万円
4.1%

財産収入
828万円
0.4%

使用料及び手数料
389万円
0.1%

交通安全対策特別交付金
50万円

村税
3億9,808万円
19.6%

地方交付税
10億7,700万円
53.2%

繰越金
6,000万円
2.9%

地方譲与税
6,500万円
3.2%

自動車取得税交付金
4,000万円
1.9%

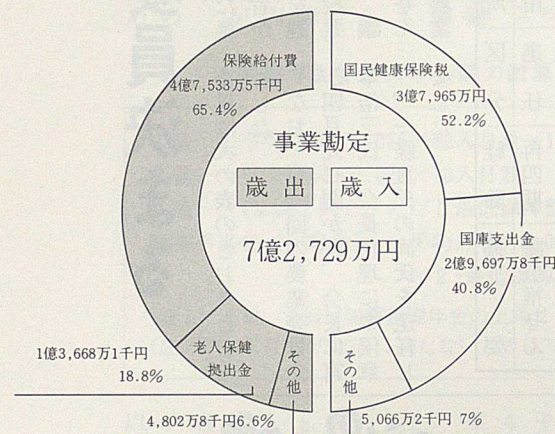
諸収入
8,862万円
4.3%

特定財源

一般財源

特別會計

特別会計は、村が特定の事業を行う場合、一般会計と区分して経理する会計で、国・県支出金や一般会計からの繰入金、事業収入などを主な財源として運用されます。



国民健康保険

のために 7億2,729万円

本年度の国民健康保険の予算額は七億二千七百二十九万四と前年度に比べ十・五パーセントの増となっています。

歳入については、保険税と国庫支出金で全体の九十パーセントとなりますが、国庫補助率が下がっていることもあり、今年度も保険税の増を見込んでいます。

歳出では、保険給付費が七十四・六パーセント、老人保健に対する拠出金が十八・八パーセントと前年度当初比でそれぞれ、二・一パーセント、八・七パーセントの伸びとなっています。

老人福祉センター
「北浦荘」に
7,810万円

北浦荘の予算は七千八百十
万円となっています。
歳入は諸収入三千八百九十
万九千円、繰入金二千八百万
円、使用料及び手数料九百七
万三千円などで、歳出として
は、総務費四千七百三十一万
円、施設業務費二千五百万円
などとなっています。

お年寄りの憩いの場として
また、北浦のレジャー基地と
して多くの人の利用が期待さ
れます。



老人保健事業に
3億3,636万円



「老人保健制度」に基づき、七十歳以上老人への医療費に一部負担金導入を取り入れ、さらに四十歳以上を対象に保健予防事業を行う、老人保健事業に、本年度は三億三千六百三十六万円を計上しました。

財源としては、支払基金交付金二億三千五百五十七万二千元、国庫支出金六千七百二十六千円などが見込まれています。歳出は大部分が医療諸費となっています。

簡易水導事業は今年度も新たな建設事業がないことから、これまでの施設維持管理の経費となっています。

歳入は一般会計からの繰入金三千四百万円、使用料及び手数料一千八百二十四万九千円などで、歳出は公債費に二千七百十一万円、総務費に二千六百万円が見込まれています。



お／も／な／し／ご／と／

交通・広報と
地域消防

老人や子どもを交通事故から
守るための交通安全運動の推進。
老人会、学校、幼稚園、交通安
全母の会等に対する交通安全教
室の実施。

危険箇所へのカーブミラー設置。
警戒標識の設置。

消防ポンプ操法大会の実施。防

火水槽新設工事。屋外消火栓格納箱の設置。

広報「きたうら」の発行。



産業の振興

農業者年金加入推進及び受給者指導。農地移動適正化あっせん事業。地域農業自立経営化促進事業。標準小作料設定事業。農業後継者結婚相談事業。水田

生活環境整備

農道整備事業として長沢地区（行戸）の舗装。野火除地区（小貫）の改良工事。村道整備事業として南高岡小幡道，新興2号道，武田小通学道，根木山道十三仏道等の舗装。オーバーレイ工事として水無道，次木旧県道，山津平道，成田1号線，成

田稲荷道等。道路改良事業として中貫堂目木道，長野江次木道十三仏道，山田池下道，鎮守道等の改良工事。生コン舗装事業。生活雑排水処理施設設置事業。



健康づくり
と地域医療

40才以上の成人病検診。胃ガン検診。結核検診及び肺ガン検診。50才対象の人間ドッグによる検診事業。予防接種。栄養改善。30才以上の婦人科ガン検診。

庁舎ロビーに自動血圧計の設置。

老人を囲む三世代の集いの実施。愛の定期便事業。高令者祝賀事業。金婚祝賀事業。乳児、母子、重度障害者を対象に医療費の無料化。保育事業。子ども会育成事業。青少年健全育成推進事業。老人保健事業。



教育・施設

学校教材，図書の整備。施設整備事業として津澄小校庭暗渠排水工事，要小プール塗装工事。武田小物置建設工事。小貫小体育館暗幕取付。三和小フェンス取付。中学校体育館暗幕取付及び屋根塗装。幼稚園屋根塗装工

事。文化財保護調査事業。芸術鑑賞会等文化活動事業。村民スポーツ大会の実施。公民館での芸術祭、成人式、各種講座の実施。



お / も / な / し / ご / と /

造林補助の申請について

昭和六十一年度の民有林造林補助事業が次のとおり実施されます。

○植林期間

昭和六十年秋から現在まで

○植林面積

一施行地五アール以上

○植林木数(十アール当り)

杉—三百本以上、檜—三百本以上、松—四百本以上。

○造林種別

拡大造林、再造林、二段林

○補助率

苗木代、地造り等の経費のおおよそ四十パーセント。

※希望者は、印鑑持参の上、五月十七日までに役場産業課まで申請して下さい。後日現地調査を行ないます。

庁内人事

○退職

平山 隆吉(住民課長)

平山 孝子(出納室・係長)

三月三十一日付
ごくろうさまでした。

○異動

老人福祉センター所長

金田 幸男

(産業課・農政係長)

住民課長

小澤 健一

(老人福祉センター所長)

教育委員会事務局・学校教育係長

石橋 徹男

(保健衛生課・水道係長)

産業課・農村総合整備係長

石間 操

(保健衛生課・保健衛生係長)

産業課・農政係長

五十野芳男

(建設課・管理係長)

保健衛生課・水道係長

浜内 正充

(公民館・公民館係長)

保健衛生課・保健衛生係長
横瀬 洋三

(教育委員会事務局・学校教育係長)

出納室・出納係長

原田かつ子

(出納室・主幹)

建設課・管理係長

山野 洋治

(保健衛生課・主事)

公民館・公民館係長

人見 偉策(総務課・主事)

産業課・主事

河野 秀男

(給食センター・主事)

保健衛生課・主事

平間 栄次(住民課・主事)

公民館・主事

森田 幸雄

(議会事務局・書記)

住民課・主事

額賀 忠和(公民館・主事)

給食センター・主事

木村 茂(産業課・主事)

総務課・主事

鈴木 賢一(住民課・主事)

議会事務局・書記

六笠 孝一(総務課・主事)

住民課・主事

真家 玉江(総務課・主事)

四月一日付
() 旧職

区長さんがかわりました

皆さんと村行政を結ぶパイプ役として、活動していただく区長さんが決まりました

区長	氏名(敬称略)
川 昌根	司 一直 亮護市明馨苗正潤弥男雄豊雄治伸夫誠
第一	清 昭
第二	敬 昌久
第三	早 勝
第四	金 忠文
戸北	勝 千栄 静
南岡	田 司 木
岡高	柳 瀬 原
宿田	田 咲 橋 藤 賀 町 田 嶋 俣 山 沢 庭
和江	根 郡 茂 原 高 横 大 塙 吉 藤 石 斎 額 柳 成 小 栗 金 本 男
木上下	◎ 会長
野貫貫	○ 副会長
三長次小	

あとがき

○昭和六十一年度の予算が決まりましたのでお知らせします。今年度は北浦村新総合計画の策定とともに、新たに農村総合整備計画もスタートします。豊かな自然環境を守り、経済・文化の特性を生かした活力のある村づくりをめざして行きますので、今年度もご協力をよろしくお願いします。



人の動き

住民基本台帳調(3月末)	
人口	11,118
男	5,557
女	5,561
世帯数	2,430
転入	51
転出	81
出生	4
死亡	4